

修学旅行生の作文

へ心に残る修学旅行

愛と涙と感動の交流会

埼玉県浦和市立高等学校

酒井歩子

私の中国修学旅行といつたら交流会の思い出が一番だ。

私たち事前に河南省鄭州市第一中学（日本の高校にあたる）の生徒と三回ほど英語での文通をしてから旅に出るのだが、私の文通手の陳探はいつも紙いっぷいに返事や詩を書いてくれて、文通の回数は少ないが彼女の印鑑は明るく元気でおしゃべり。

陳探と話していくうちに彼女の英語力に驚かされた。

私たちの口からあまり英語で話すのが苦手な旅に出るのだが、私の文通手の陳探はいつも紙いっぷいに返事や詩を書いてくれて、文通の回数は少ないが彼女の印鑑は明るく元気でおしゃべり。

陳探と話していくうちに彼女の英語力に驚かされた。

母国語のようにすらすらと英単語ができた。突然、彼女が中国語で話しかけてきた。

最後には二人の笑い声と理解し合えた時のハグ。

筆談をも交えてやっと理解し合えた時の大きな喜びは今でも私の脳裏に焼きついている。

自分が彼らの立場に置かれたり後輩の生徒たちも思い出される。果たして、もしも私はその手紙を読む度に「会いたい」という思いが入り、彼女の人生を知ることができた。交流会当日は対面するなり陳探は笑顔で抱きついてきたので私はびっくりした。でもそのおかげで緊張が和らいだ。うれしきでいっぱいになってしまった。

彼女の印鑑は明るく元気でおしゃべり。

私は彼女に「Thank you」ばかり多く、あとはただ何回も元気でね」と日本語で繰り返すのが精一杯だった。言葉は通じなくて、あの時の私の気持ちをきっと彼女に伝わった

だらうと信じている。

五日間の体験を通して今までの私の中国の印象は、それをはるかに超えて

素晴らしいものだった。十

二月の厳しい寒さと広大な

地で生きている中国の人々

の心はとても暖かかった。

そんな環境の中で生活を送

った私たちの修学旅行は大

成功だったと思つ。また何

月後かに新たな気持ちで中

国にぜひ行きたい。

成功だったと思つ。また何

月後かに新たな気持ちで中